

総務文教常任委員会

令和3年度一般会計予算 総務費 44億1,117万円 旧角館庁舎(東勝楽丁庁舎)解体に1億728万円

令和3年度の一般会計予算の内、総務文教委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。総務費は前年度対比で、プラス3億4,323万円(8.4%)と増額されておりますが、これは、ふるさと納税の寄付金の増加を見込んだことによるものです。

令和3年度一般会計予算 (総務常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億4,426万円	1億7,043万円	△2,618万円	△15.4%	議会運営に関する予算
総務費	44億1,117万円	40億6,805万円	3億4,312万円	8.4%	行政運営全般や企画制作等
消防費	8億9,778万円	10億7,254万円	△1億7,477万円	△16.3%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	14億7,191万円	15億4,761万円	△7,570万円	△4.9%	小中学校や公民館等の予算
公債費	20億9,154万円	20億8,762万円	393万円	0.2%	借金の返済

令和3年度 一般会計予算の主な内容

公共施設等マネジメント事業費	1億2,241万円	旧角館庁舎(東勝楽丁庁舎)解体、旧角館病院土壌汚染調査などの経費
ふるさと納税ふるさと便事業費	7億6,290万円	ふるさと納税の寄付金を12億円見込んでの返礼品などに係る経費
第三セクター経営改革推進事業費	1,254万円	厳しい経営状況の三セクの経営診断をコンサルタントに委託する経費
秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費	7,980万円	秋田県、北秋田市、仙北市の三者が負担している内陸線への補助金
秋田内陸線安全対策交付金	590万円	新型コロナによる収入減少のため、安全対策に係る経費を三者で負担
学校適正配置関係事業費	35万円	教育環境の在り方を地域の方々と共に検討するための経費

ここが知りたい 議論のポイント

令和3年度一般会計予算の主な質疑

旧角館庁舎などの解体は今後どう進めていくのか

質問 公共施設等マネジメント事業費の内訳はどのようになっているのか。

答弁 旧東勝楽丁庁舎の解体に1億728万円。旧角館総合病院の土壌汚染概況調査業務委託に1,480万円。旧中町庁舎土地建物不動産鑑定業務委託に33万円である。

質問 旧東勝楽丁庁舎の解体費が、当初の見込みより倍増しているがなぜか。また、この予算には旧中町庁舎と西木公民館の解体費は含まれていないのか。

答弁 旧東勝楽丁庁舎の解体費については、令和2年度の実設計調査時にアスベストの含有が判明し大幅に増額となった。旧中町庁舎については、建物付きでの売買も検討していることから解体費は予算化していない。また、西木公民館の解体については、令和3年度には実施しないが早急に解体する予定である。

第三セクターの経営改革は相当の覚悟を持って臨むべき

質問 第三セクターについては、令和3年度も各施設で大規模な修繕などに多額の予算を計上しているが、

統合再編や施設の廃止についてはどう考えているのか。また、1,254万円を投じてのコンサルタント委託は、厳しい現実になることも予想されるが、大きな成果が得られるように相当の覚悟を持って臨むべきであるが考えを問う。

答弁 市としては、4社が単独で運営していくことは厳しいと考えている。今回のコンサルタントへの委託は統合再編も含めて、どのように進めていくかにも関わってもらう。経営改善効果が高いのであれば、施設の廃止もあり得ると思っている。

内陸線の安全対策への補助金は今後も継続するのか

質問 秋田内陸線安全対策交付金として、ついに安全対策にも補助金を出すようだが、内陸線関連の助成金は仙北市単独ですでに1億円を超えている。さらに安全対策にまで補助することになれば、今後の負担は計り知れないものになる。秋田県、北秋田市、及び内陸線との4者での十分な協議はしているのか。

答弁 新型コロナウイルスの影響で内陸線は前年比6割減の収入見込みであり、安全対策経費を補助することになった。コロナ禍によるものであり、継続的な支出とは捉えていない。令和3年度の安全対策費は、県が1/2を負担する。残り1/2の60%を北秋田市が、40%を仙北市が負担するという内容となる。

市民福祉常任委員会

令和3年度一般会計予算 民生費・衛生費 76億2,482円 新型コロナウイルスワクチン接種関連費用に7,693万円

令和3年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。地域密着型サービス施設等事業費補助金、介護施設開設準備経費等支援事業費補助金合わせて4,115万円、新型コロナウイルス感染症病原体検査費用助成事業費・新型コロナウイルスワクチン接種関連事業に7,693万円などが計上されております。

令和3年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	増減比率	備考	
民生費	社会福祉費	28億811万円	28億2,996万円	△2,185万円	△7.7%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	16億2,128万円	16億8,923万円	△6,797万円	△4.0%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	5億1,394万円	6億398万円	△9,004万円	△15.0%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	763万円	763万円	0	0.0%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	97万円	113万円	△16万円	△14.0%	災害救援に関する予算
	計	49億5,192万円	51億3,193万円	△1億8,001万円	△3.5%	
衛生費	保険衛生費	6億2,975万円	5億4,434万円	8,541万円	15.7%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	1億6,728万円	2億9,634万円	△1億2,906万円	△43.6%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	10億9,718万円	9億5,000万円	1億4,718万円	15.4%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	7億7,868万円	7億7,399万円	47万円	0.1%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	26億7,290万円	25億6,467万円	823万円	0.3%	

令和3年度 一般会計予算の主な内容

誕生祝支給事業費	351万円	新生児の誕生を祝うため、誕生児童1名につき5万円を支給する。
地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	3,360万円	西木地区へのグループホーム開設に関する補助金
生活保護費	5億700万円	生活保護法による扶助費の支給
新型コロナウイルス感染症病原体検査費用助成事業費	183万円	コロナの自費検査に対する助成金
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	5,030万円	集団接種に関する医師や看護師の人的費や会場設営等の経費
通知カード・個人番号カード関連事務費	△50万円	マイナンバーカードに関するシステム費(令和2年度補正予算)

令和2年度

病院事業会計補正予算 医師就学資金の成果を問う

質問 医師等修学資金貸付金元利収入3,610万円について、市内病院に勤務して頂くことを返済免除の条件として貸付した就学資金であったが、返還される経緯を伺う。

答弁 貸与終了後、仙北市の病院ではなく、医学部生の地元である愛知県の病院に勤務するために返還となる。目的は大変残念な結果となった。市ではリスクを負いながらやってきた経緯もあり、適切に返還されるよう対応したい。

地域密着型サービス施設 質問 補助金交付の相手方はどこか。また、決定までの流れについて伺う。

答弁 西木地区の事業者からグループホーム開設の申請が出されているが、詳しい場所や設計図等は示されていない。この度は県でも1事業者分を予算措置している。流れとしては、大曲仙北広域介護保険事務所において第8期の計画に基づく運営協議会を8月から9月頃に開催し、その中で、令和3年度の施設整備計画が審議される。その後、事業者から市に対し補助金

申請が提出され、それを受け市は県に補助金を申請する。補助金が決定されれば施設の建設に取り掛かることができる。年度内開設はタイトなスケジュールとなるため、あらかじめ予算措置をしておくことになる。

マイナンバーカードを健康保険証として使う手立ては(令和2年度一般会計補正予算) 質問 健康保険証として使える仕組みはどうなっているのか。

答弁 マイナンバーカードを作っただけでは、すぐに保険証とはならない。カードの初期設定を行う必要がある。顔認証読み取り機にカードをかざし、マイナンバーの顔写真と一致していることを確認することになる。市内で利用できるのは、市立角館総合病院、市立田沢湖病

令和3年度
一般会計予算の主な質疑

ここが知りたい
議論のポイント

産業建設常任委員会

令和3年度一般会計予算

農林水産業費 11億2,259万円 前年比43%の減額

令和3年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産費は前年度対比で、マイナス8億5,686万円(43%)と減額幅が大きくなっておりませんが、これは、黒沢工業団地に誘致予定の植物工場事業（現在凍結中）が終了したことによるものです。

令和3年度一般会計予算（産業建設常任委員会で審査された項目）

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,293万円	6,572万円	△28万円	△0.4%	シルバー人材センター補助金など
農林水産業費	11億2,259万円	19億7,945万円	△8億5,686万円	△43%	農林業、畜産、漁業関係の予算
商工費	8億2,373万円	8億8,041万円	△567万円	△0.6%	商工業振興や観光振興の予算
土木費	17億6,938万円	18億6,158万円	△922万円	△0.5%	道路改良及び他会計補助金等

令和3年度 一般会計予算の主な内容

メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金	1億3,200万円	ネギ栽培のメガ団地への補助（神代地区 2法人・8.5ha）
花葉館施設整備事業費	2,091万円	花葉館の工事費と設計委託料及び厨房の冷凍冷蔵庫の購入費等
仙北ニューネイチャーツーリズム造成事業費	500万円	コロナ禍におけるアウトドア観光事業費
地域ブランディングによる観光まちづくり事業費	2,049万円	将来に向けた地域まちづくり6項目事業費
雪寒地域建設機械整備費	6,140万円	除雪ローダー14t級2台の購入費
道路新設改良費	6億9,819万円	交付金を活用した市道の道路改良事業費

「請願第1号 総合体育館建設に関する請願書」を採択

【請願理由】かねてより田沢・生保内地域の住民総意により要望していた、生保内武蔵野地内への「総合体育館」建設は地域住民の悲願である。更なる観光関連産業の発展に寄与するものと確信する。

【審議内容】建物や予算の規模、財源などを含め慎重に審査する必要があるため、継続審査にすべき、とする意見と、住民の意思を尊重すべき、とする意見が出された。採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決定した。

委員会採決結果（委員長は除く）

賛成	反対	結果
3	1	採択

DMO取り組みは質問DMO本登録に向けた取り組み状況はどうなっているのか。

園芸メガ団地の内容について質問 農林水産業費における、メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金の事業内容について伺う。
答弁 神代地区の2法人が、8.5haにネギを栽培する計画である。税込の総事業費は、1億9,660万2,750円、法人負担は約6,000万円ほどである。主に、トラクター、育苗ハウス、暖房機などで、50万円以上は国の補助で、50万円以下は県の補助となっている。2法人ともネギの栽培は初めてなので、JJAの指導の元取り組みでいく。市としても、今後の機械導入等に対し有利な制度の導入指導を行いながら支援していく。

ここが知りたい 議論のポイント 令和3年度一般会計予算の主な質疑

道路維持や各種愛護団体について質問 土木費における、道路維持や各種愛護活動についてどのよう な状況になっているか。
答弁 市道は例年になく状況が悪い。随所でひび割れや穴などの被害が発生しており、除雪費の一部を活用し早急に修繕を行うこととしている。また、愛護活動については、構成員の高齢化が顕著であり、引き続き情報を集め対応していく。

答弁 令和2年度、男鹿がDMO本登録になったが、その要因の一つが、観光動態調査を継続していたことである。観光庁の考え方としては、コロナによる観光客の落ち込みは全国同じであるが、減少時も継続調査をすることにより、その後の対応も出来るとの考えであった。本市が本登録されなかった要因は、データが少なかったことが大きい。今、観光動態調査についてあらゆる角度で実施し、精査して本登録に向けて取り組む。

訂正とお詫び

仙北市議会だより No.61 2月1日発行 P15 旧石黒（恵）家公開事業費について、記載内容に誤りがありました。下記のように訂正してお詫び致します。

質問 石黒（恵）家について基金はどれくらい残っているか。また今後の活用と入館料について伺う。

答弁 基金は今回繰り入れた残高が約565万円となる予定である。入館料については、今後も徴収しない方針であるが、部屋利用にかかる料金は基本的に有料である。減免により無料となる場合もあるが、市民に有効に活用して頂きたい。